



2019年10月28日

各位

会社名 富士通フロンテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 川上 博彦
(コード番号 6945 東証第2部)
問合せ先 経営企画室長 堀部 達夫
(TEL042-377-2544)

コスト構造改革の実施および特別損失の計上について

当社は、グローバルプロダクトビジネスにおける成長戦略の着実な実行と、それに伴う安定的な収益基盤の構築を図るため、2019年7月24日に「コスト構造改革に伴うリソースシフトの実施について」を公表し推進してまいりました。本日、リソースシフトの実施結果および今後の各施策の実行計画について取締役会にて決議いたしました。また、これに伴い2020年度3月期第2四半期連結決算において特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. コスト構造改革の実施について

当社は、2019年7月24日公表の「コスト構造改革に伴うリソースシフトの実施について」にてお知らせしたとおり、以下に示したコスト構造改革の骨子に基づく各施策を推進してまいりました。

【コスト構造改革の骨子】

- (1)プロダクト開発・製造・調達体制の再編・強化
- (2)ソリューション・サービス起点でのビジネス強化
- (3)不採算事業の見直し
- (4)上記(1)～(3)に関連した全社的なリソースシフト

(1)プロダクト開発・製造・調達体制の再編・強化

当社金融ビジネスを取り巻く経営環境の変化を踏まえ、幅広い業種のお客様の変革を支えるプロダクト開発体制の強化を図るとともに、調達体制の効率化、製造ロケーションの最適化を目指してまいります。このような状況の下、開発、製造、調達を含めたサプライ

チェーンの体制見直しを行い、それに伴うリソースシフトを実施いたしました。また、新潟工場の再配置を実施し、それにより工場スペースの効率化や外部倉庫の取り込みなどによるキャッシュアウト抑制を図ります。

(2)ソリューション・サービス起点でのビジネス強化

ソリューション・サービス起点でのビジネス強化を図るべく、サービスビジネスのシナジー創出を目指し、従来、新潟工場と熊谷サービスソリューションセンターの2拠点で行っていたリペアビジネスを熊谷サービスソリューションセンターに統合いたします。

(3)不採算事業の見直し

中国金融向けメカトロニクスビジネスでは、価格競争の激化、ビジネス環境の不透明感が継続するものと見込まれるため、事業規模を縮小いたします。また、開発リスクを伴う国内公共表示ビジネスにおいては、商談獲得の厳格化を徹底いたします。このような状況に対応して、人員の最適化を図ります。

以上の状況を踏まえた、国内のリソースシフト実施結果は以下のとおりです。

① 国内リソースシフトの概要

対象者	50歳以上の社員
退職日	原則として2019年10月20日
支援内容	退職金に特別加算を実施 再就職支援会社を通じた再就職支援サービスを提供

②実施結果 159名

2. 特別損失の計上について

以上のリソースシフトおよび構造改革の実施に伴う費用を事業構造改善費用として、2020年3月期第2四半期連結決算において、1,492百万円を特別損失に計上いたしました。本件に伴う業績への影響は、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以上